

令和7年度第1回大口町下水道事業経営審議会 議事要旨

日時 令和7年6月20日（金）

午後1時30分から午後2時30分

場所 大口町役場 3階第5委員会室

1 委嘱状交付

2 建設部長あいさつ

3 自己紹介

4 会長・副会長の選出について

会長：柘植満委員 副会長：山田徹志委員

5 議事要旨

(1) 大口町下水道事業の概要

（事務局）資料説明 → 意見なし

(2) 下水道事業経営の基本的考え方

（事務局）資料説明 → 意見なし

(3) 令和6年度決算状況

（事務局）資料説明

（委員）21ページの基準外繰入金と当年度純利益からみると、基準外繰入金が0なら当年度純利益はマイナス二千万円ぐらいということですか。

（事務局）はい。

（委員）借金をして、利益があるようになっている、普通は必要以上に借入はしないのですが。一度繰入したものは返却しないのですか。

（事務局）今回の決算では、このようになっておりますが、令和7年度以降は基準外繰入金を減らして余分な利益はださないようにします。

（委員）利益がでてるようにみえるが、利益がでてないですね。

（事務局）下水道事業会計の特色からどうしても赤字になってしまうので、基準外繰入金をいれて純利益がでてるように会計処理をしております。

（委員）わかりました。29ページの経費回収率ですが、令和5年で使用料改定したけれども100%とどかなかった。考え方が2つあると思うのですが、一つは利用料金を値上げする。もう一つはコスト削減、コスト削

減の努力はないのですか。

(事務局) もちろん使用料改定の前には、コスト削減は必須だと思います。

(委員) どういったことが考えられますか。

(委員) 全国平均の有収率までもっていったら使用料収入が増えるので、有収率の向上をさせることができれば、赤字の解消も同時にできるのではないかと。値上げをどうしてもしなくては行けないと、説明されるのはわかるが、有収率の向上をどうやって進めるかが一番大事だと思う。

90%以上の方が下水道を利用されているので、これらの人の負担をいかに減らすのかを考えてほしい。

まず、有収率を全国平均の80%台にするのに、どうやってめざしていくかを真剣に考えてほしい。

一つの解決手段として有収率の向上をぜひやっていただきたい。

次に、令和6年度の有収率が急激に下がっているが、そんなに急に管路が悪くなるか疑問。企業の地下水利用分の把握がきちんとされているか調査する必要があると思う。不明水が減る可能性もあるのではないかと。

(事務局) 現状として、有収率が下がる可能性はある。大口町は陶管が多い。町内で管路調査をしているが、陶管の不明水が多い状態にある。管更生工法を進めているが、費用がかかる。下水道事業の健全化を目指すうえで、価格を考えなくていけない状態にある。

6 その他

次回の大口町下水道経営審議会は、来年1月頃予定しております。

ウォーターPPP他を予定しています。

以 上